



▲三月十五日、東由利中学校の卒業式が行われ、男子四十六人、女子十三人の計七十九人が、進学や就職へと、それぞれの道に元気よく巣立っていきました。

豊かな自然みんなで 拓く町 伸びる町



1988—4
No. 397

昭和63年4月1日発行・毎月1日
編集・発行 / 秋田県東由利町役場総務課

- ・みんなの力で育てよう
「新農村・東由利」
- ・三月定例町議会
- ・カメラアイ
「文化サークル発表会」
- ・〈特集〉巣立ち



▲三月定例町議会が三月七日から八日間開かれ、六十三年度予算案など二十二議案を可決し閉会しました。

▲待ちに待った春がやって来ました。例年より早い雪解けで、ふきのとうも早々と顔をのぞかせています。これからは山菜のシーズンです。山の幸を存分に味わいたいものです。
(写真は三月二十七日大琴にて)



出羽丘陵開発事業・大森団地(葎沢)

昭和六十三年年度予算が三月の定例町議会で承認されました。今月は町長の施政方針説明の中から今年の町づくりを拾って紹介します。厳しい予算の中今年は何をやるのか——二十一世紀に向けた今年の町づくりを、町民の皆さんにも一緒に考えていただきたいと思います。

みんなの力で育てよう

新農村東由利

■総予算

23億6千万円

- 総務費／台山周辺環境緑化整備事業など 2億6、626万円
- 民生費／長寿敬老祝い金支給など 1億6、859万円
- 衛生費／50歳人間ドックの実施など 1億5、256万円
- 農林水産業費／町民いこいの森整備など 6億1、141万円
- 土木費／道路の新設・改良・舗装など 2億7、617万円
- 消防費／防火水槽の新設など 1億949万円
- 教育費／パソコン導入費など 2億5、096万円
- その他／災害復旧費など 4億6、535万円

大胆な施策で活性化を推進



農家自身と農村自体の努力で新しい農村づくり

日本の農業は、もはや国内問題という狭い視野に立った判断での論議は成り立たず、国際的な位置付けの

円高の外圧、貿易自由化攻勢で、わが東由利町にも影響が出てくる今日を踏まえ、二十一世紀に向け、農業立町をめざし、新しい町づくりに投資していきます。

中で考えなければならない時代となりました。いま日本の農業は、農産物の自由化問題や円高の進行に伴い、財政制約による影響、更には国民生活の変化による食糧受給の変容、並びに消費者意識の変化など一段と厳しさが増えています。こうした情勢

の変化に適切に対応し、農業を自立させていくためにはどうあるべきか、今後はその命題と宿命を背負いながら、農家自身と農村自体が互いに確認し新しい農村づくりに努力していかなければならないと考えます。

今年度は農家基盤整備を更に推進
昨年度から始まった「水田農業確立対策」は二年目を迎え、今年度は更に「米需給均衡化緊急対策」が課せられ、農業に生きる厳しさを再確認させられる年となりました。しかしこれらの課題を抱えながらも、本町は農村基盤の整備が年々着実に進み、今年

度は出羽丘陵開発事業が六年目にし、完成をみるなど、畜産振興対策基盤の確立により稲作と畜産の複合経営が一段と強化し、農業近代化への道が更に拓けることになりました。これらと併せ、今年度は更に農村基盤の整備と生活環境整備に一段と力点をおいた施策を遂行していきます。

地域の特質を踏まえた施策で：これからは、営農と生活が一体的かつ有機的に営まれ、理想的な農村社会建設のための地域の特質を踏まえた施策が求められると存じます。今年度はこうした施策を大胆に取り入れながら町づくりに取り組み、町活性化対策をより一層強力に推進していきます。

町長施政方針説明② いきいきとした活力ある町づくり四つの柱

1 健康で明るい
福祉の町づくり

健康は町民の基礎財産であり、町発展の基盤です。町民憲章にもこのことを掲げ、行政施策を年々強化・充実してきました。今年度は新たに、二歳児健診、五十歳一日人間ドック、大腸がん検診を実施するほか、保健婦の増員、老人保健医療用のマイクロボスの購入など、「健康で明るい福祉の町づくり」を推進します。

2 快適で住み良い
生活環境づくり

心豊かな文化水準の確保は、町民のひとしく望むところです。このため、文化的な生活環境の整備と、近代的な行政施策が急務となってきました。今年度は、生活環境整備に更に力を入れ、町民にこいの森小リゾート計画の実施、台山周辺の環境整備と緑地公園化の準備などを進めます。

3 道路整備と
産業基盤づくり



道路は文化のパロメーターといわれるように、整備のいかんによって地域の文化・振興の状況が計られる時代です。この観点に立ち、道路行政を最重点施策に鋭意努力します。

4 教育環境の整備と
人づくり

人づくりは、すなわち町づくりです。今年度は、学校教育の環境整備として町教育研究所へのパソコンの導入、高瀬小学校自転車置場の建設、特殊学級の開設、また、社会教育施設の整備として町民グラウンド大規模改修の準備などを行います。

主な事業と予算
大切な予算、
町民の声を
生かして……

★は新規事業・千円未満切捨
《総務費》

●町政PR事業→338万円
●今年度の町づくり★町勢要覧作成

●地域手づくり事業→47万円

●縁組世話人報奨事業→40万円

●町づくり懇話会→90万円

●在京出身者との懇話会開催

★町シンボル制定事業→19万円

●町の花、木、鳥、歌制定準備

★台山地区緑化公園計画及び環境緑化整備事業→342万円

●台山地区公園化準備、植樹など

★町づくりアイデア構想事業

→17万円

●町民の提案を公募

《民生費》

●高齢、身体障害者福祉関係事業

→725万円

●家庭奉仕員の訪問世話活動、浴室、トイレ等

整備費の補助、デイサービス、

寝たきり老人の短期保護など

●重度身障者移送費給付事業→

30万円

●タクシー利用券交付

●長寿敬老祝い金支給事業→85

万円

●90歳以上310万円支給

《衛生費》

★二歳児健康診査事業→22万円

●老人保健・福祉関連事業→

5102万円

●老人医療用マ

イクロボス購入★50歳人間ドッ

一般会計

二十一世紀に向け、次の世代に活きる使い方を

23億6千万円

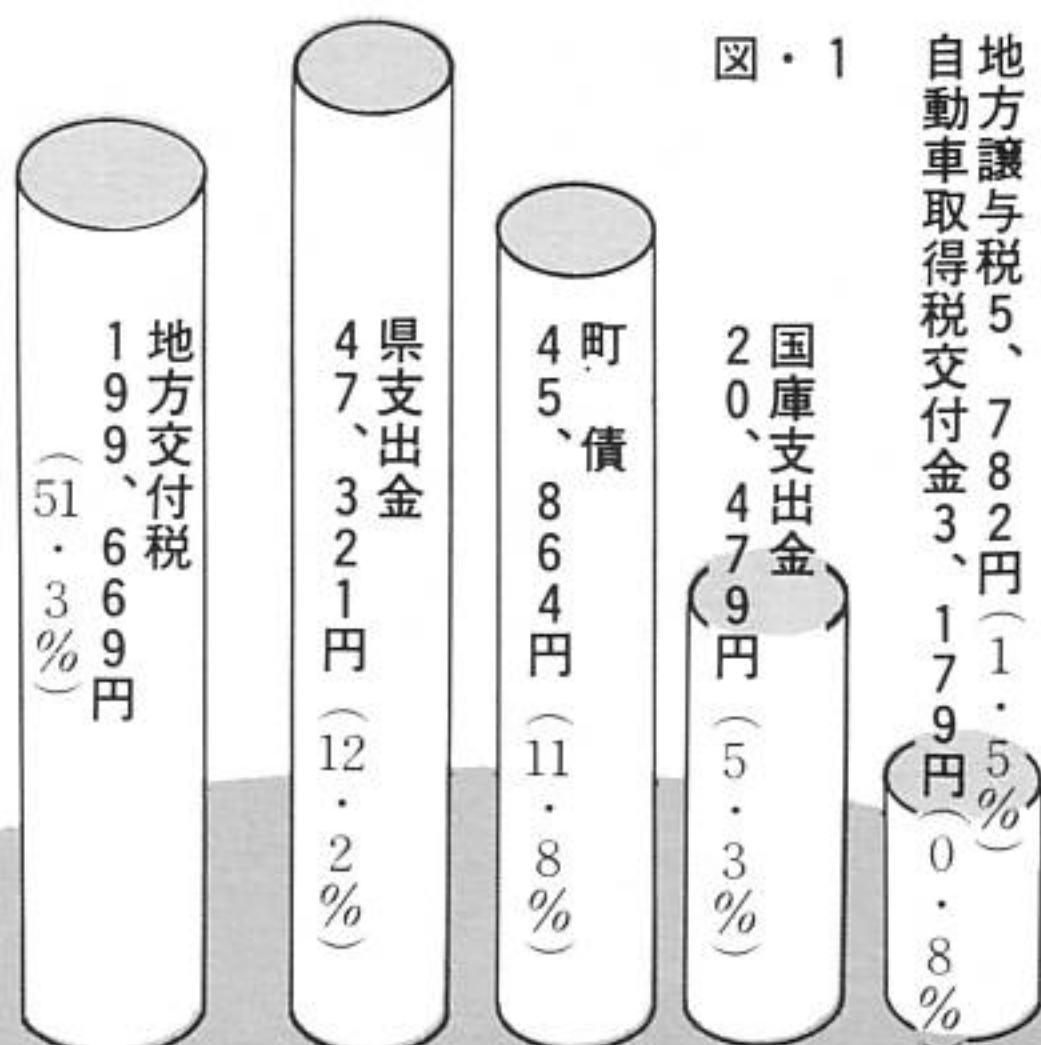
その使い道は？

今年度町に入ってくるお金と使われるお金は次の通りです。
表と図を見ながらお読みください。

昭和六十三年一般会計予算は二十三億六千二百七十七万九千円です。
前年度の二十一億八千六百一十五千円に比べ八・一割、金額で一億七千六百七十六万四千円増えました。

分担金及び負担金 4,656円(1.2%)
繰入金 3,298円(0.8%)
財産収入 2,571円(0.7%)
その他 1,312円(0.3%)

図・1

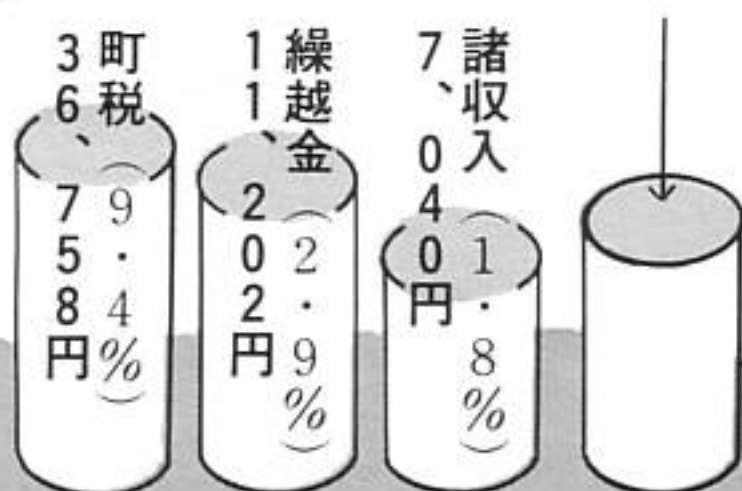


依存財源82.9%

町民一人が負担する税金

・固定資産税 19,574円
・電気税 1,860円
・町民税 11,677円
・軽自動車税 1,207円
・たばこ消費税 2,407円
・木材引取税 33円

自主財源17.1%



農道整備費、道路新設改良費を大幅にアップ

今年度予算が大幅に増えた理由は、経常的な経費の自然増のほか国の内需拡大策に伴い公共事業が増加したため、農林水産業費や土木費が大幅に増え、特に農道整備費や道路新設改良費などの普通建設事業費が一・四・一割、約一億円増えました。また、教育費も大琴小グラウンド整備や八塩小、大琴小プール修繕、高瀬小自転車置場建設のため大幅増とな

町民一人当りは年間約39万円の予算です

総額二十三億六千二百七十七万九千円を町民一人当りに直すと三十八万九千二百五十五円になります(一月一日現在の六千七十七人で計算)。その内訳は、収入では図・1の通りで、町税に繰越金や財産収入などを加えた自主財源は、全体の二七・二割、一人当たり六万六千八百四十一円となっています。

支出項目	本年度予算額	前年度予算額	伸び率	収入項目	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
議会費	61,951	62,195	△0.3%	町税	223,124	205,785	8.4%
総務費	266,264	307,593	△13.4	地方譲与税	35,100	32,710	7.3
民生費	168,591	153,981	9.5	利子割交付金	700	10	70.0
衛生費	152,561	133,608	14.2	自動車取得税交付金	19,300	19,300	0
労働費	4,412	4,721	△6.5	地方交付税	1,211,991	1,147,739	5.6
農林水産業費	611,414	548,554	11.5	交通安全対策金	10	10	0
商工費	9,799	8,979	9.1	特別交付金	28,264	21,714	30.1
土木費	276,176	243,492	13.4	分担金及び負担金	7,965	7,865	1.2
消防費	109,496	107,534	1.8	使用料及び手数料	124,308	79,700	56.0
教育費	250,967	210,628	19.2	国庫支出金	287,243	251,454	14.2
災害復旧費	27,332	400	68.3	県支出金	15,606	16,915	△7.7
公債費	420,706	401,220	4.9	財産収入	10	10	0
諸支出金	110	110	0	寄付金	20,020	20,020	0
予備費	3,000	3,000	0	繰入金	68,000	62,000	9.7
支出合計	2,362,779	2,186,015	8.1	繰越金	42,738	59,563	△28.2
				諸収入	278,400	261,400	6.5
				収入合計	2,362,779	2,186,015	8.1

昭和六十三年一般会計予算(単位:千円・△減)

ワサビやタラの芽の栽培グループに助成金交付

●地域農業整備促進事業→100万円

●野菜栽培振興事業→35万円

●野菜栽培グループを育成

●農業後継者対策事業→56万円

●良質米流通対策事業→51万円

●あきたこまちを消費地でPR

●産業道路整備事業→550万円

●中堅農業青年対策事業→77万円

●研修費、視察費などを補助

●実験園場設置事業→22万円

●転作物の実験園場を設置

●水田農業確立対策事業→125万円

●畜産振興対策事業→377万円

●指導員設置、集団育成、講演会開催、肥育牛導入推進など

●肉用牛増頭対策奨励事業→150万円

●肉用牛増頭に3か年で1頭当り6万円補助

●多産功労牛表彰事業→9万円

●多産繁殖牛に奨励金交付

●農道整備事業→1億3546万円

●坪倉、深山★鞍骨★杉森★ザラメキ線を改良

●農村総合整備モデル事業→1億4350万円

●農道整備★館合集落施設調査設計など

●第三期山村振興対策事業→6767万円

●八塩ダム一周道路、吊り橋建設など

●林業振興関係費→4757万円

●町有林の間伐、新植、補植

町づくりの予算は
町民一人当り約13万円

一方支出ではイラストの通りで、これらのうち人件費、物件費など義務的経費、その他の経費を除いた町づくりのための投資的経費は全体の三二・八割、町民一人当り十二万七千五百円となっています。

■昭和六十三年特別会計予算

(単位：千円・△＝減)

会計別	本年度予算額	前年度予算額	伸び率
国民健康保険	478,336	497,039	△3.8%
老人保健	326,901	284,283	15.0
黒瀬診療所	2,242	2,316	△3.2
簡易水道事業	129,740	188,498	△31.2
特別養護老人ホーム	117,016	117,231	△0.2
大平スキー場	10,305	11,725	△12.1
玉米財産区	1,239	1,690	△26.7

支出



町長施政方針説明③

予算編成にあたって

昭和六十三年年度の我が国の経済成長率は、名目で四・八割、実質で三・八割程度が見込まれています。また、地方税は九・四割、地方交付税は七・五割の伸びが見込まれ、内需拡大の国の方針などと併せ、国の予算規模が大型化の傾向にあることから、本町の今年度予算は、これらを踏まえ特色ある編成を試みました。

このため、町づくりに係わる新規事業を積極的に組み入れるなど、可能な限り前向きに、積極型の予算を編成しました。

予算編成にあたって留意した基本的な事項は――

- ①累積する公債を抱えていることから、将来の見通しを踏まえ財政の健全化を図った
- ②行財政の健全化、効率化と経費の節減・合理化に最大限留意した
- ③限られた財源の、重点的かつ効果的な配分を図った
- ④新規事業予算の確保に努め、可能な限り補助金と良質公債の活用、

適用に努めた

⑤行政各分野にわたり、新規事業を組み込んだ

以上、厳しい財政の中ではあっても、町発展のための投資的経費に係わる町単独事業については、財政的に可能な限り積極的に取り入れ、また、地域経済の振興や地域雇用の安定を図るための施策や、地域活性化のための生活関連施設の整備と道路整備事業に力点を置き予算を計上しました。

- 下刈、林業関係団体育成、作業道開設への助成など
- 林道新設改良事業→4055万円
 - 荒沢川線など3路線開設
 - ★ふれあいの森林整備事業→144万円
 - 分収育林計画調査
 - 特用林産物振興対策事業→126万円
 - 梅の里づくり、栗生産振興、団体の育成など
 - いこいの森管理事業→429万円
 - ★照明工事、桜植栽など
- (商工費)
- 地域商工業振興対策事業→228万円
 - 関係団体の育成
 - 観光事業→158万円
 - 観光協会等育成
 - ★観光案内所の設置
- (土木費)
- 道路維持・新設改良事業→2億1131万円
 - 冬期交通対策→2638万円
- (消防費)
- 消防施設整備事業→1875万円
 - 防火水槽、格納庫
 - ★行政無線工事
 - ★消防車無線設置など
- (教育費)
- 教育研究所費→540万円
 - ★パソコン導入
 - ★副読本刊行
 - 小学校関係費→3317万円
 - 大琴小グラウンド整備
 - ★八塩・高瀬小プール修繕
 - ★高瀬小自転車置場建設
 - ★特殊学級の開設
 - 町史編さん事業→388万円
 - 社会教育関係事業→2163万円
 - ★史跡標柱・案内板設置
 - ★分館修繕
 - ★老方館外溝工事
 - ★町民グラウンド改修設計委託、
 - 各種社会教育・体育事業実施

六十三年度予算案などを可決

一般質問で六氏が町長の考えをただす

三月定例町議会が三月七日から八日間の日程で開かれ、町長の施政方針説明、一般質問のほか、六十三年度予算案や六十二年度補正予算案など十二議案について審議、いずれも原案通り可決して閉会しました。以下、一般質問、議案、常任委員会の審査報告について概要をお知らせします。



一般質問

一般質問では六氏が二十項目について町長の考えをただしました。質問、答弁の一部は次の通りです。

問 放置されている河川災害の改修の用途は

答 現場を調査し、普通河川として管理可能な地域なのかを検討した上で、改修の可否を判断したいと考えています。

問 職員の、ここ数年の研修内容と、その成果は

答 行政の効率的な執行力の養成、能力の開発、公務員としての資質の向上など、極めて重要な課題であり、職員研修にはかなり力を入れていきます。現在、県町村会に委託しての、初任者から管理職までの「自治研修」と、県地方課への長期派遣研修を行っているほか、月一回主任以下若手職員の「職員懇談会」を開き、公務員としての資質の向上を図るなど、それなりの成果は得ているものと確信しています。

問 職員の四週六休制が叫ばれているが当局の考えは

答 それぞれの市町村によって環境が違い、地域社会との整合性や客観情勢を判断した上で慎重であるべきと考えており、地域住民の理解が得られるような客観情勢が整わないうちは実施しない方針で、慎重に対処していきたいと考えています。

問 林業振興と森林組合の活性化のため行政指導の強化と経済援助を

答 昭和六十年に林業振興地域指定及び森林地域整備市町村指定を受けたことで、森林総合整備事業、森

林地域活性化緊急対策事業などを強化しているところです。特に林業低迷期であった五十九年からは、町単独事業で森林強化育成事業を実施し、作業道開設への助成などで成果を得ているところです。また、六十一年度には林産物処理加工施設を建設し、「八杉会」の利用のほか森林組合青年部も加工に加わるなど、現在意欲的な取り組みが見られます。六十三年度は設備増設に更に助成する予定で、桐や小物、こけしなどの加工を軌道に乗せる計画がたてられていることから、初期の目的達成に期待を持っています。

問 館合地区流雪溝整備の促進を

答 六十三年度の公共事業をもって完成することになっており、今冬から運用できます。

問 新町後町間改良の早期実現を

答 非常時や通勤等住民生活の面を考慮しながら、どうあるべきか、今後検討を加えていきます。

問 転作田への収益性の高い作物の栽培を推進し、定着を

答 六十三年度の転作は七一・八割が飼料作物で、この実情を踏まえ

主な議案



■町職員の勤務時間に関する条例の一部を改正▽労働基準法の一部改正に基づき「一週間の法定労働時間」の一部を改正。

■町牧野使用料徴収条例の一部を改正▽出羽丘陵開発事業で再整備された草地の採草料を十一年二千円に改正。ただし若林、寺山、大台、根小屋、長根谷地、中台の団地は七千三百円。

■町家庭奉仕員派遣事業の費用に関する条例の一部を改正▽国の要綱改正に基づき、負担基準区分、利用者負担額を改正。

■町立学校条例の一部を改正▽大琴小学校大台分校の常設校の廃止に伴い、大琴小学校大台冬季分校に名称を改正。

■町道の認定▽杉森土場沢間の「林道杉森線」を町道に認定。

■固定資産評価審査委員会の委員を選任▽任期満了に伴い遠藤二三雄氏(七十歳・宿)を再任。

■団体営農道整備事業の施行▽町道鞍骨線、杉森線を団体営農道整備事業として改良すること決定。このほか二議案を割愛。

収益性の高い作物の栽培指導をより一層強化したいと考え、新年度予算にも計上しています。また、転作で成功している農家もあり、これらの方々に中核となつていただき、転作農業の確立を推進していきたいと考えています。

問 今後の財政見通しについて

答 国の大幅減税による地方交付税への影響は、いまのところ不透明ですが、税制改正そのものが国の財政建て直しにあることを考えると、地方自治体の財政を考慮しての措置もとられることと思われるので心配

していません。今後、中・長期を展望しての町づくりには、地方税の伸びに期待する一方、良質債活用に今まで以上に配慮し、公債費率を一五割台に押さえていきたいと考えています。

問 冬期孤立住宅への行政対応について

答 国・県補助対応事業に該当しないため従来のままの狭い道路が、町内にはまだかなり存在しています。これらについて現在検討しているところであり、新年度予算に現地調査費を計上しました。調査後、

年次計画をたて、町単独事業で整備する方針です。

問 先駆的農業者に援助を

答 ご承知の通り、野菜栽培グループや稲作研究会などに対する研修助成をしているところであり、新年度においては、ワサビ、タラの芽の栽培グループへの援助を予算化しました。転作農業時代を迎え新しい農業の確立が必要な時期でもあり、抜本的な対策を、前向きに十分検討していきたいと考えています。

問 林野経営の見直しを

答 毎年広葉樹林の伐採が行われ、

分収林も年々減少しています。「伐採後は分収契約が解除となるので、これを更に分収林の契約更新をし、広葉樹林の育成を図って」とのご提言については、もちろん山の荒廃を避けるためにも育林が必要と思われるので、その地域の希望がある場合は分収契約更新も可能であり、現行条例でも可能です。分収林でいくか、町直轄でいくか、現場の判断が必要ですが、補助事業で「育成天然林整備事業」等を適用して育林を図るべきと考えます。

総務財政常任委員会

●台山地区緑化公園事業について▽将来展望にたった土地の高度利用のため、十分な調査を。

●農業振興費について▽降年度に実施する農産物の付加価値を高めるための施設について、今年度中に農協

農業の指導強化に配慮を 総務財政常任委員長の報告から

との対話や先進地視察を。

●地籍調査費について▽僅少面積の町有地については、地目の如何にかかわらず、将来的な管理の合理性から勘案し譲渡処分すべきである。

●観光費について▽町活性化対策としての「黄ざくらまつり」「雪まつり」などの執行にあたっては、協賛

団体が喜んで参加、協力できるよう十分な配慮を。

教育民生常任委員会

●テレビ難視聴地域の解消について▽一定地域の解消のみならず、他の地域の調査も実施し、テレビ難視聴地域解消に公平な行政努力を

●本荘地区消防事務組合について▽同議会に、一市四町の議会代表を議員として加え、今後の消防運営を適正・強化させるよう要望を。

●袖山分館施設整備について▽袖山館の活用も考え合わせた整備を。

産業建設常任委員会

●町内生産物の販路拡大について▽生産団体への援護については、高生産の指導にとどまらず、販路拡大についても指導の強化を。

●林産物処理加工施設について▽地場産業の創出と雇用の場確保などのために、生産体制の確立など行政指導の強化を。

●館合地区農村集落多目的共同利用施設について▽今年度計画されている同施設の設計にあたっては、能率的な管理、運営ができるよう、構造、規模等の十分な検討を。

主な補正予算

六十二年度一般会計の現計予算に、五千八百五十三万八千円を追加、歳入歳出予算の総額は二十四億九千六百九十九万二千円となりました。

歳出補正予算の主な内訳は次の通りです。

■財政調整基金積立金▽五千万円

■児童措置費▽三百十三万円の減額

■簡易水道事業特別会計繰出金▽八百三十四万一千円

■老人保健会計繰出金▽二千二百一十一万六千円

■農道整備用地購入費▽二百四万一千円

■道路新設改良用地購入費▽四百九十二万八千円

■大平スキー場運営費特別会計繰出金▽百十三万四千円

■災害復旧費▽三千七十六万二千円の減額

■公債費▽四百六十九万八千円の減額



今月のドキュメント

カメラ・アイ

本町にも生涯学習を実践しているサークルが三十ほどあり、三月六日有隣館で「東由利町文化サークル発表会」を開きました。今月から新しく設けた「カメラ・アイ」では、この発表会の模様をとらえ、生涯学習の実践に生き生きとした町民の姿を拾ってみました。



『おどりの会』

豊かな心を持つと、いつまでも若々しく生きていける

人々が自分の意志に基づき、生涯にわたって学習し続けること……いま「生涯学習」の必要性が盛んに叫ばれています。激しい社会の変化に取り残されないために、また長くなった老後の生きがいを創出するために、生涯学習は現代社会に欠かせないものといえましょう。

サークル発表会



▲郷土史学習風景

▲ちぎり絵の展示



「踊り」の発表には、ふじみ会、つぼみの会、美好会、ゆりの会、おどりの会、老人クラブ芸能部、民踊同好会と、町民の踊りのサークルが一堂に参加し自慢の踊りを披露。踊り手は子供からお年寄りまでと、パラエティに富んでいました。



『美好会』

と巻・昭和63年3月6日
★ 来年も開かれますので
みなさんもぜひ仲間に入ってみませんか

病気にめげず
6年間在学
「いろんな人との
交流が何より
の成果だった」

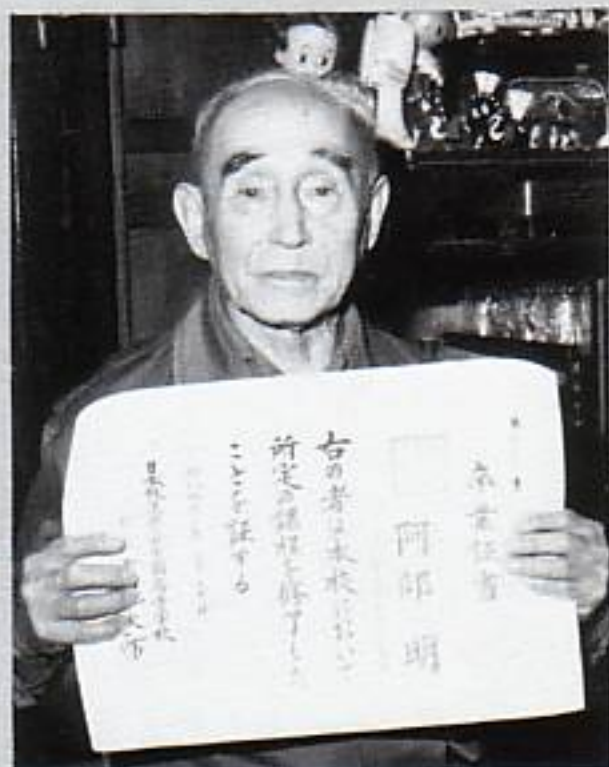
79歳の阿部さん 高校を卒業

七十三歳でNHK学園高等学校に入学した横渡の阿部明さん（79歳）が、高齢、病氣療養などのハンディを乗り越えこのほど六年ぶりに無事卒業されました。

阿部さんは五十六年四月に同校に入学しましたが五十九年に胃がんを患い休学。手術で回復はしたものの術後の後遺症などで六十年も休学し、

六十一一年にようやく復学。今春めでたく卒業証書を手にしたものです。NHK学園高等学校は、職業、年齢のへだたりなく、テレビやラジオを使って学び、月一〜二回のスクーリングとレポートの提出など、四年で高校卒業の資格が得られるもので、これまで全国で三万人を越す人たちが卒業しています。NHK秋田放送局では「全国ではまれだが県内では阿部さんのような高齢者の卒業は例がない。すばらしいこと」と、テレ

卒業証書を手喜びの阿部さん



して余暇を利用して学び、卒業したら大学の通信講座も受けたと思っていた。しかし、病を患ったとき大学はあきらめた。病後のスクーリングは大変だったが、入学した以上卒業だけはしたいという気概があった。在学時は、高齢のため記憶力の低下や体育のスクーリングに苦労した。しかし、年齢や職業を越え、いろんな人と交流できたことが何よりの成果のように思う」と卒業の喜びをかみしめ、語っていました。

自らの知識や技術は
余暇時間の活用や老後の生きがいにつながります
あなたも仲間に入りませんか

今回の発表会に参加したのは、写真、俳句・短歌、ちぎり絵、踊り、民謡、ピアノ、管弦楽など十六サークルで、このほか写真講座と郷土史学習会も開かれました。

16サークルが参加・発表



写真講座



コーラスグループ「コスモス」

文化サ



終ったあとはみんな
満足した顔、顔、顔

ステージの上では十二サークル約百五十人が、日頃の学習の成果を家族など二百人余りが見守る中で発表。終了後は、「あがって足が震えた」「間違ってしまった」などつぶやきながらも、皆満足げな顔でした。



音楽同好会「フォルテシモ」



ピアノ発表会

希望

今年の卒業生は中学生七十九人、高校生六十六人……。今、希望と不安を持ちながら、新しい環境に向かおうとしています。そこで、先生、先輩、親から一言……。卒業生の一言……を特集しました。ガンバレ、新たな道へ……。

〈特集〉

巣立

伸ばせ！磨け！

先生から一言

中学校→就職

3人

中学校→高校

76人

高校→就職

63人

高校→大学

3人

不安

卒業おめでとう

今年東由利中学校を卒業された方は、男子四十六人、女子三十三人の計七十九人で、このうち七十五人が県内の高校へ進学、四人が県外の高校や定時制高校、各種学校へ進学・就職しました。この七十九人の卒業生たちは、九年間の義務教育課程をやっと終え、いよいよ社会に巣立つことになったわけです。この九年間を振り返ってみると、新しい帽子に新しいカバンのかわいい姿で、両親に手を引かれて小学校に入学し、そ

のころは右も左もわからず、もちろん文字も知らなかったことでしょう。それが今では新聞も読めるし、手紙も書けるし、また遠いところまで旅行をすることもできるようになりました。しかし、ここまで立派に育つことができたのは、両親はもちろん諸先生方の親身にも及ばぬ骨折りの賜であったことを忘れてはなりません。

誘惑に負けるな……

この年ごろになると、もう立派な大人で、一番血気に走りやすい青春時代でもあります。また、希望に満ちている時代ともいえますが、反面極めて危険な時代だとも考えられます。発奮することも必要なことです。反対に誘惑に負けて大切な一生を台無しにしてしまった例も少なくありません。いたずらに青春にかられることなく、自重自愛のうえ、雄々しく、力強く、新しい生活への第一歩を踏み出してほしいものです。



卒業、そして新たに進もうとする道の決定、本当におめでとう。今、君達は絵の具を持って真白なキャンパスに向かおうとしている。「さあこれからどんな作品に

仕上げていこうか」と考えた時身が引きしまり、頭の中が混乱してくることでしょう。人生というキャンパスに向かって君達はどんな絵でも描くことができる。君達には無限の可能性がある。問題なのは自分に秘められた可能性を信じて頑張るか、否かである。「あれだけやったんだから」と満足してはいけない。

伸ばせ！磨け！

(石井満彦・東由利中元三年担任)



入試の後悔、二度と味わいたくない

心配して発表を待った高校入試もどうにか合格することができてとてもうれしかったです。いよいよ高校生になるわけですが、入試で感じた後悔など二度と味わわなくてもいいように一生懸命頑張るつもりです。ご指導くださいました先生方、本当にありがとうございます。そして、同期生のみなさん頑張ってくださいよう。

(鈴木要一・沼・秋田高校)



自分に厳しく……

春が近づき始めた三月十五日、私達は中学校を卒業すると同時に、全員高校合格を果すことができました。四月からは、新たな生活が始まります。これからは、何事も自ら進んで吸収しようとしなければ得るものも得られないような気がします。これが本当の意味での勉強だと思っています。いつでも自分に厳しく、希望を抱き明るい高校生活を送りたいものです。

(菊地由紀恵・宇戸坂・本荘高校)



感謝の心を忘れずに…

今年県内の高校を卒業した人は十六人です（広報担当調査）。このうち六十三人が学窓から巣立ち就職や家事手伝いへ、三人が上級学校へ

社会の厳しさを
乗り越えよう…

先輩から一言



ある出張先でのこと。二つの用務があつたのだが、最初の用務で思いがけず時間を費してしまった。そこで昼食もとらず、急いで次の用務に出たのだが、定刻に遅れて

しまった。しかし、そこで言われたのは、迷惑そうな顔で「遅い」の一言だった。悔しいとは思ったが、口に出すのはやめた。理由は、どうあれ、結果がすべての社会なのだ。

親の責任から自分の責任へ。より責任ある行動が求められる。しかし、様々な社会の厳しさを感じ、乗り越えたとき、僕はひとまわり大きくなった自分を感じるのだ。（高橋勝義・宇戸坂・地方公務員）

と進学しました。皆、卒業の喜びと共に、立派な社会人となるため、新たな決意をしていることでしょう。この三年間にそれぞれの学舎で得たことを基礎とし、また諸先生方はじめお世話になった方々への感謝の心を忘れることなく、社会で頑張っしてほしいものです。

社会人として大事なことは…

ある高校のPTAのアンケートで「子供に対する親の願い」を調査したところ、次のような希望が大方だったようです。

- ①健康と時間を大切にしてほしい。
- ②目上を敬愛し、他人を思いやつてほしい。
- ③何事にも協調できる人であってほしい。
- ④自分の言動に責任を持つてほしい。
- ⑤客観をふまえ、確かな主観を持つてほしい。
- ⑥目的意識を持って頑張ってほしい。
- ⑦いろいろな誘惑に負けないでほしい。
- ⑧失敗をくよくよせず、自信を持つてほしい。（以上順不同）

町発展に貢献を…

「学校を出てからが本当の勉強なのだ」といわれるように、卒業してからの、物事に取り組む意欲の有無が人生を大きく左右します。常に自己の研さんに努め、社会の一員としての自覚と責任を持ちながら生活し、やがては町の発展に貢献してほしいものです。

一日一日を大切に
悔いのない人生を

父から一言



君たちは今、様々な思いを胸に秘め社会へ巣立とうとしています。喜びの大きな陰には、先生方、地域の人たち、そして両親の情愛があつたことを忘れてはならない

と思います。卒業は凱旋にあらず出陣なり—これからは自分の力で、学舎で得たものを自らの量とし、やがて訪れる二十一世紀に向け己の道を切り開いていくことを期待します。古今東西を問わず、成功の道に就いた人々は必ずや確かな目的意識を内包し、努力と協調によりそれぞれ立派な果実を結んでいるのです。どうか一日一日を大切に、悔いのない人生を歩んでください。（佐々木儀悦・下通・団体職員）

何事にもチャレンジ

幼かった頃から早く働いて両親に楽させてやりたいと思っていた自分も、今では高校を卒業して大人へと近づきつつあります。でも、心身共に未熟な自分で、今までのように両親に甘えることもできません。しかし、高校生活での思い出を土台に、自分に責任を持ち、自分を見失わないように何事にもチャレンジしていきたい。

（伊東隆・横渡・秋田信英株）



周りに頼られるような人間になりたい

これからは一人で責任の持てる人間になりたい。今までは何一つ自分一人ではできなかった私だから、周りの人に頼られるようになりたい。決して社会に出たからといって自由になれるわけではないから、自分だけがよければ…という気持ちを持つてなくなると思います。社会の目はとても厳しいから…。

（横山美和子・智者鶴・小松医院）



話題いっぱい よらかどトピックス

消防行政に貢献の
佐藤団長と高橋本部長

消防庁長官から 功労章を受賞

災害の予防と消防力の強化に努めその成績が特に優秀で他の模範であるとして、このほど消防庁長官から本町消防団長の佐藤力さん（宇戸坂）に功労章が贈られました。佐藤さんは四十八年同団長に就任、以来防火思想の啓蒙、災害の未然防止、消防力の強化などに努め、六十一年には無火災を記録するなど、本町消防行政に大きく貢献しています。また永年勤続功労者として、三十五年から



消防庁長官から表彰された佐藤力さん（右）と、高橋隆男さん（左）

町消防団本部長として活躍している高橋隆男さん（下小路）にも、同長官から功労章が贈られました。このほか日本消防協会会長より精績章が、第一分団部長の斎藤良悦さん（石高）、第五分団長の鈴木博さんに贈られました。

春の火災予防運動4/3～4/9
消えたかな！
気になるあの火もう一度

酪農経営研究発表会で
小野さんが知事賞を受賞

がんばれ

町の若手酪農家

「秋田県酪農経営研究発表会中央集会」が三月八日秋田市のみずほ苑で開かれ、中央地区を代表し「親子三代酪農と共に」をテーマに発表した下吹の小野武志さん（写真）が見事最優秀賞に選ばれ、佐々木県知事から表彰状と記念品が贈られました。小野さんは本荘高校を卒業後、昭和五十九年から一年間オランダで酪農研修生として実習、現在その成果をいかし、本町でも数少ない酪農家を

として両親と共に頑張っているほか、町農業近代化ゼミナール副会長としても活躍しています。

発表では、三代にわたる経営の経過、特徴などをデータをまじえながら紹介した後、結びに「我が家の酪農は祖父の代から三十年の長い歴史を歩んできたが、私の酪農は今スタートラインに立ったばかり。牛乳の生産調整など酪農経営は一段と厳しい時にあるが、飼料自給率の向上、



良質牛乳の低コスト生産などを目標に掲げ、一步一步着実に解決・達成していきたい」と、プロの酪農家として生きる決意を力強く述べ、会場から一段と強い拍手が送られました。がんばれ、町の若手酪農家。

絵やデザインが 審査員の目引く 小野さんの「大黒 風」が能代大会で 努力賞受賞

第五回春風風の会能代支部主催風揚げ大会が二月二十八日能代市浅内で開催され、大琴の小野良一さん所属「本荘由利風を愛する会」が準優勝を、また個人で小野さんの「大黒風」が同大会でただ一人努力賞を受賞しました。小野さんは自作風ひかれ年に五つの風を制作、受賞した「大黒風」（写真・中央）は小野さんの自信作で「絵やデザインが審査員の目を引いた」と、共に出場した伊東実さん（本荘市）は話しています。



賞状、楯、トロフィーを手に、小野さん（左）と妻の金子さん（右）

献血ありがとう

3/2・太字400cc. (敬称略)

大琴診療所	佐々木良博	小松五緒子
遠藤テツ子	高橋美栄子	佐藤智和子
巖石 文弥	高橋 優子	渡辺 和美
畑山 文子	佐藤 好男	小松 仁美
鈴木 茂	横山 玉一	渡辺 サキ
玉米支所	佐藤 利一	小笠原慶悦
小松 正二	佐藤 孝悦	小松 節雄
長谷山宗市	小野 信子	小松 明美
役 場	柴田 和尋	小野 久隆
藤田 博之	佐々木信幸	長谷山久志
菅野 清隆	畠山 明	中西 成人
遠藤 晃	高橋 孝紀	高橋 寛
梅津 栄一	須田 清隆	小野 彰
山野 肇	秋田信英(株)	佐々木 清
阿部清太郎	紀悦 井口	文雄
工藤 昭義	畠山 紀悦	茂和

高橋さんに銀色有効章

日本赤十字社の銀色有効章（献血三千回以上）が、このほど高橋富男さん（館西）に贈られました。



この欄は地域で行われる催しの案内版として次号からご利用下さい。地域の「花見」「運動会」「祭り」など…。毎月20日が締切日です。

和牛の改良・登録
事業に貢献

畑山藤作さんが 全国和牛登録協会 功労者として表彰

全国和牛登録協会の功労者として土場沢の畑山藤作さん（写真）がこのほど表彰されました。和牛の改良と登録事業に長年功績のあった方々を、同協会が創立四十周年を記念し表彰したもので、県内では二人。県共進会で上位入賞を重ねていることや全国共進会で優秀賞を受賞した功績などが認められたものです。

畑山さんは「一世一代の榮譽であり、光榮極まりない。表彰に恥じないよう今後とも頑張りたい」と、和牛



改良等に新たな意欲を燃やしていました。

国体第三位の
栄光をたたえ

本荘高 野球部 佐藤くんが スポーツ賞受賞



県体育協会の六十二年度スポーツ賞に、昨年の第42回海邦沖縄国体で第三位に入賞した本荘高校軟式野球

部が選ばれ、部員全員にスポーツ栄光賞が贈られました。同国体には本町下小路の佐藤敏夫くん（写真・元本荘高校三年）も二塁手として出場し活躍、県体育協会から栄光をたてる賞状とメダルが贈られました。佐藤くんは、海上自衛隊入隊のため三月下旬神奈川県横須賀に出発、野球を通して得た体験を活かしての活躍に大きな期待が寄せられています。

東由利歴史散歩

「東由利は

かつて海だった」

居住するようになったのは、今から五千年前



文・畑山昭二
（町史編集室）

写真は空から見た老方地内。ここもかつては海底だった

東由利はかつて海底だった時代があったのですと言っても、まさかと信じられないかも知れませんが、その証拠が四百三十八段の高葉師山の頂上付近をはじめ、海に住む貝の化石があちこちに残っているのです。

このようなことは本町のみならず、東北地方全体を含め、大規模な火山活動にともなう地殻の変動によって、隆起・沈降・しゅう曲や沈下によって海底になったり、氷河が溶けて海水面が上昇して海底になったりすることを繰

り返す中で、約二千万年前頃に、今のような陸地が形成されたと考えられています。

地球が誕生したのは四十億から五十億年前と言われ、人類の祖先が出現したのは約二百万年ですが、東由利に人が住み生活していたとされる遺跡調査の状況から考え、せいぜい五千年ぐらい前頃でないかと思われます。地球の歴史からみると約十万分の一というごく短い年数が、東由利の人々の生活でしかないことになります。

★町職員の異動は広報号外で お知らせします。 人事異動 学校・駐在所・営林署

お世話になりました

【八塩小】（一）転出先・敬称略

●教諭・茂野由紀子（小出小）

●同・猪股弥太郎（下川大内小）

●同・山崎 修（大久保小）

●主事・堀 昭彦（西滝沢小）

【高瀬小】

●校長・渡辺清一（出羽中）

●教頭・伊東舜司（平沢中）

●教諭・小笠原琴子（新山小）

●主任・大島悦郎（鶴舞小）

【大琴小】

●教頭・鶴沼昭夫（小出小）

●教諭・阿部清治（退職）

●同・佐藤弘之（松ヶ崎小）

●養教・佐々木順子（亀田小）

●講師・加藤英行

【東由利中】

●教頭・鶴沼 貞（釜ヶ台小・中）

●教諭・那須春樹（県教委）

●養教・佐藤真知子（由利中）

●講師・尾留川昭 ●同・今村聡

【下郷分校】

●教諭・東海林武敬（矢島高）

●同・佐藤彰久（角館高）

【駐在所】

●巡査・山田 聡（秋田機動隊）

【営林署担当区】
●主任・国安光男（湯沢営林署）

よろしくをお願いします

【八塩小】（一）前任校・敬称略

●教諭・須藤元夫（川内小）

●同・佐藤ティ子（子吉小）

●同・伊藤雄悦（象潟小）

●主任・畑中 亮（鶴舞小）

【高瀬小】

●校長・大平謙一郎（平沢小）

●教頭・三森喜一郎（矢島中）

●教諭・高橋百合子（新任用）

●主事・佐々木一穂（本荘南中）

【大琴小】

●教頭・佐々木康三（平沢小）

●養教・土田恭子（由利中）

【東由利中】

●教頭・梅津康男（釜ヶ台中）

●教諭・近藤達夫（象潟中）

●養教・長谷川真弓（新任用）

【下郷分校】

●教諭・佐藤正男（矢島高）

●同・長谷部正則（新任用）

【駐在所】

●巡査・広嶋 寿（西目駐在所）

【営林署担当区】

●主任・高橋道芳（矢島営林署）

み

ん

な

の

ひ

ろ

ば

この紙面は、みんなで作るページです。町民の交流の場としてどしどし参加してください。自薦、他薦どちらでも結構です。広報担当までお知らせください。

わたしの
お父さん
お母さん

わたしのあかさんは
とてもきれいで
やさしいです。



下小路・遠藤まゆみちゃん

伝承・昔の遊び①

コマまわし

舟木・長谷山孝太郎さん



雪が消え土の匂いが辺りに漂いはじめる頃、昔は子供たちがそれぞれ自慢の手造りコマを持ち寄り、コマまわしを競いあいました。



絵・石渡力造さん

ふるくを想う①

東由利会総会五月一日に
東京都・小野定平さん(55歳・自営業)



残雪のある小川の岸辺が雪解け水で洗われて黒い土肌を出し、埋もれていたバツケが顔をのぞかせ、青い雑草が鮮やかに生え、せせらぎの波の音がさらさらと流れゆく情景を想うと、幼な心はずませ

て歩いた頃を思い出します。

故郷を離れて三十年になります。が、喜びも悲しみも、楽しいことも苦しいことも、その半分は生れた土地に残っています。そうした思い出に接したいとの願いの表われの一つが東由利会の集いです。

恒例の東京東由利会の総会が五月一日北区赤羽会館で開かれます。その節は田舎の風味ある漬物や特産品のミニ展示会も開かれる予定です。知人、友人をお誘い合わせの上、町出身者多数のご参加を期待しております。連絡先(事務局) 〇三・九五一・八三〇五

コマには「金」マークの数によって大きさの違う五種類のコマがあり、これを麻糸のひもでまわし回転時間を競ったり、「デッチ」といって輪金をはめたコマとコマをぶつからせ、火花を散らせて相手のコマを倒す遊びもありました。また「綱取り」といって、ひもを使ってコマをあやつる妙技の上手な子供もいました。

ものしり家庭版

知っている便利、くらしの豆知識①

●冬物収納の季節。上手なクリーニングの出し方

- 破れやほつれなど、自分で直せるものは繕っておきましょう。
- しみがついている場合は、その個所に糸で目印をつけ、しみの種類や付着してからの日数、そのときの応急処置などを伝えます。
- ボタンの取れそうなものはつけ直しておきます。
- 購入時についていたデメリット表示や取り扱いの注意は、必ずクリーニング店へ伝えます。
- 高価なものなど特に大切なものは、そのことを伝えます。

- 対の衣服は必ず一緒に出します。色や風合いが変わってしまう、揃いで着られなくなることがあるからです。
- 家庭での洗濯のコツ
- 取扱表示の注意書きをよく確かめます。
- ほころびや破れは繕っておかないと、破損を大きくします。
- ファスナーやホックなどは閉じておきます。
- 色物の初洗いは、衣服の見える部分を洗剤で漏らした布で強くもみ、色落ちを確かめておきます。
- 一度に洗う洗濯物の量は、洗濯機の表示容量の七〇%、洗濯物がスムーズに動く程度を目安にします。

健康ライフ

花粉症から身を守るためには…

指導・小松医院 小松良竹先生



花粉症はスギ花粉等ある特定の花粉を吸い込んだとき、特にアレルギー体質の人に、発作的なくしゃみや目の繰り返し、鼻水、鼻づまり、目のかゆみ、流涙などの症状が現われる病気です。花粉から身を守るには空中に浮遊する花粉から逃れるしかありません。そのためには、風の強い日に外出する場合メガネ、マスク、帽子を着用し、帰宅後は服を着替え、うがいや洗髪するなど、花粉を身につけないこと、家に持ち込まないことで、家族などの協力も必要です。

How to cooking

わが家の自慢料理

山菜ジャンボ かき揚げ丼

上通 小松フヨさん

ポリウムたっぷりなの
で子供たちにも大人気!



何といっても春を
食べるのがうれしい。

※山菜の季節。いろんな山菜を使いいろいろ作ってみてはいかがでしょう。



作り方は、天井
と同じです。
パッकेを使った
場合、多少の臭い
があります。

① パッケのつぼみ

菜の花・タラの芽・
つくしの花等を洗って
水気を切っておく。

② エビの殻をむき①と混ぜた
ものに小麦粉小さじ二弱を
まぶす。

材料(4人分)・パッケのつぼみなど山菜を
適量・えび(中)12尾・だし汁1カップ・砂

糖1・5g・みりん各1カップ・醤油各1カップ
・ご飯・小麦粉・ころも・サラダ油・塩



子から 八塩小学校四年 高橋潤くん ホンネ本音親から

館合新田
高橋美栄子さん



ぼくはこんど四年生になり
ます。四年生になったら、い
ままでよりもっと勉強して、
家のお手伝いもしたいと思いま
す。だから、ファミコンのカセッ
ットを買ってください。
それから、四年生になったらお
こづかいがもらえるので楽しみで
す。
それと、こんど新田部落でラジコ
ンレースの大会があるので、ぼくも
でてみたい。だけど、ラジコンない
から買ってもらいたいナ。



今度四年生ですね。
四年生になったら、いつも思いや
りの気持ちを忘れず、低学年のめん
どうを見てください。
それから、「ファミコン」で遊
ぶのは宿題をすませてからにして
ほしいナ。
おこづかいは、今月からの約
束だからあげますが、むだづ
かしいしないで、少しずつ貯金す
る気持ちも大事です。そうす
れば、自分のお金でラジコン
も買えるのではないかな。

お年寄りの健康

メンタルガイド

張りのある毎日を!!

雪解けの山野に芽を出す草色は
人の心を引き締めます。
人生八十年時代といわれる現代
は誰もが「健やかに老いる」こと
を願っています。人は年をとるに
つれ、諸機能に変化をきたします
が、運動機能と精神機能は比較的
に長い間維持できるといわれます。



高齢にもかかわらず、老いて益
々盛んな人は、絶えず頭を使い、
よく働き、物ごとにこだわらない
人に多いようです。年をとっても
誰かに何かをしてもらうのではな
く、自分は家族や社会のために、
何ができるかを考え、自分の持つ
ている能力や活力を、毎日の生活
の中に活かすことが豊かな老後と
言えます。趣味を嗜み、学習活
動には積極的に参加して、張りの
ある日々をおくりたいものです。

(保健婦・伊東志津子)

東由利の文芸

ゆりかご句会二月定例会から

◆きさらぎや仙洞御所は扉を鎖し

阿部義直(沼)

◆週一度炭焼く窯朝の東風

小松慶治郎(高戸屋)

◆農事メ毛頭に描く二月かな

阿部澄子(蔵)

◆北国は深きねむりの二月かな

小笠原亮子(蔵新田)

◆わが家の小さき窓にも早二月

遠藤モトミ(新処)

◆猛吹雪隣も遠き二月かな

菊地常作(湯出野)

初孫です

横渡・遠藤俊也ちゃん・11カ月

茂さんとトモ子さんの長男



『ジャジャマルくんが大好きで、
テレビに毎日出てくるジャジャマ
ルくんを見て大はしゃぎです』お
ばあちゃん・ヤエさん談

町民カレンダー

- 3・早朝かけつけ訓練（春の火災予防運動・ $\frac{1}{2}$ ）
- 4・小学校入学式
- 5・中学校入学式
- 6・保育園入園式
- 14・民生委員協議会定例会



- 21・春の清掃週間（ $\frac{1}{2}$ ）
- 22・自治会長会議（予定）
- 24・大防火止訓



- 26・第39回秋田県植樹祭（八森町）
- 27・清掃指導（宿地区）
- 27・農業委員会



3月★町のミニ統計（ $\frac{2}{1}$ ～ $\frac{2}{29}$ ）

- 人口（一）は前月比
- ・男 2、971人（△6）
- ・女 3、085人（△2）
- ・計 6、056人（△8）
- 世帯数1、454戸（一）
- （一）は1月からの累計
- 出生6人（12）●死亡8人（15）
- 転入2人（7）●転出6人（18）
- 結婚0組（1）●離婚0組（0）
- 火災0件（1）●救急車出動9件（16）●ごみ処理量27t（54）
- 交通事故6件（12）●死者0人（0）●傷者0人（0）●飲酒運転0人（0）●酒気帯び0人（0）

生の意見を聞いて町政に反映させようと毎年開いている「自治会長会議」が二十二日有鄰館で開かれる予定です。地域の意見・要望等がありましたら十六日まで地区自治会長にご連絡をお願いします。

町民の声を町政に！
町長面会日は今月20日

郷土の野草

文・写真 小松忠正
（写真は私の家の畑で撮影）



コナスビ

（サクラソウ科）

原野・畑地に生える多年生の草で群生はしませんが十本ぐらい集まって生えます。どこから種子が運ばれてくるのか、今までなかった所に姿を見せる面白い植物です。茎は長さ十五センチ位で葉は有柄の卵円形で対生し、茎とともに細毛があり、葉腋ごとに緑色のガクに五深裂の黄色の小花をつけ、花後果実をつけます。この果実の物が茄子（ナス）に似ているので和名の「コナスビ」になりました。乾燥又は生のまま腫物の薬にします。

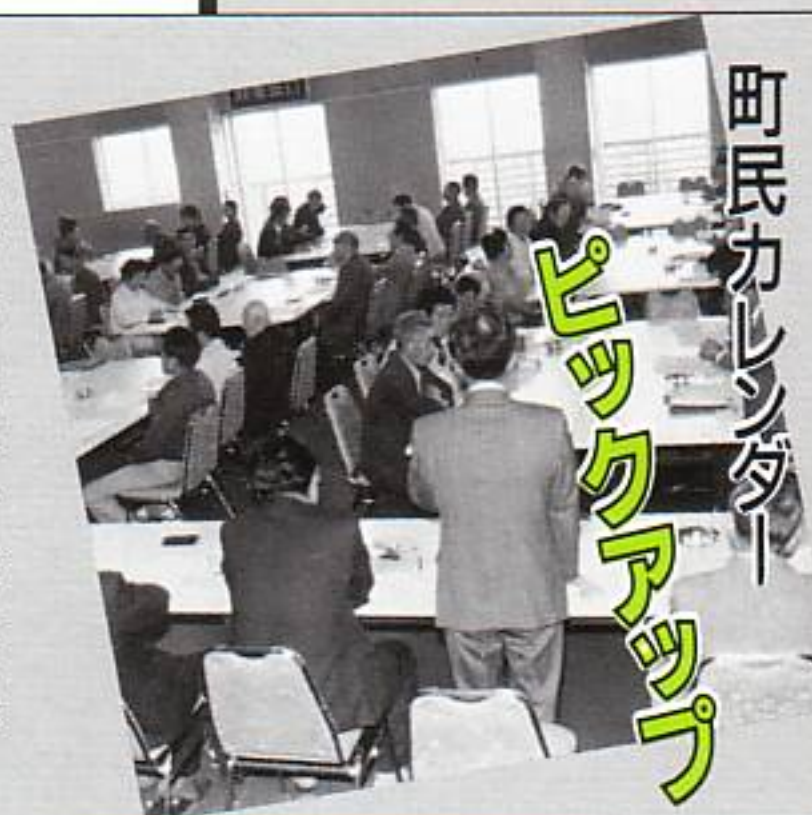
善意

町社会福祉協議会へ次の方々から善意が寄せられました。

【ご芳志】

▼古関三郎さん（松柴）▼佐藤勝雄さん（寺田）▼千葉欽一さん（島）▼石渡安二郎さん（蔵新田）

ありがとうございます



町民カレンダー

ピックアップ

戸籍だより

（ $\frac{2}{21}$ ～ $\frac{3}{20}$ 届出・敬称略）

●お誕生おめでとう

長谷山真平（順一・長男）
長谷山真司（真理子・二男）
舟木

八嶋 孝宏（俊子・長男）
黒瀬

高橋 那央（佳仁・長女）
久保

佐藤 匡規（正博・長男）
律沢

●ご結婚おめでとう
佐藤 俊孝（時雨山）
水戸枝美子（秋田市）

●ごめい福をお祈りします
 $\frac{2}{2}$ 小野 武（66・石路子・夫）上里

$\frac{2}{3}$ 佐藤 デン（79・金子・母）地下ノ沢

$\frac{3}{3}$ 佐藤 ヨシ（56・勝雄・妻）寺田

$\frac{3}{4}$ 千葉 サキ（62・欽一・妻）島

$\frac{3}{5}$ 佐藤 作蔵（80・順一・父）黒瀬

編集室から

今月号から広報の紙面を変えてみました。多くの方々からご意見・ご要望をお寄せいただき、できるだけそれに応えたつもりですが、いかがでしたでしょうか。ただし、これまでの「ヤングレポート」のほか「農に生きる」（新）「新聞語録」（新）などを紙面の都合で掲載できかねました。次回から掲載させていただきます。広報づくりには、皆さんからのアドバイスや話題提供が必要です。これからも、激励から不平不満まで何でもかまわず言ってください。よろしく！



悩みごと
何でも相談

【相談】正月過ぎに千葉へ出稼ぎに行く矢先、交通事故で負傷。治療に二か月かかり、やっと働けるようになったが用意していた旅費を使ってしまった。（五十歳男性）

【対応】町社会福祉協議会に「たすけあい資金」という制度があり、十万円を限度に無利子・三年以内返済で貸付けしている（※地区担当民生委員の同意が必要）。この男性も、この制度を利用しお盆には全額返すことにし元気に働きに出发した。（町心配ごと相談所）